



一液型ウレタンニス

水性ウレタンニス

用途 手作り家具・建具・木工品・工作品などの屋内木部、無垢木材床。

(高級家具を除く) (フローリングを除く)

強い塗膜で
キズがつきにくい

標準塗り面積(2回塗り)
5.4~9.8㎡
タタミ3.3~5.9枚分

乾燥時間
夏期/30分~1時間
冬期/2~3時間

塗り重ね時間の目安
夏期/2時間以上
冬期/6時間以上

0.7L
注意書きをよく読んで
から使用して下さい。

商品名 水性ウレタンニス **品名** 合成樹脂塗料(水系)

成分 合成樹脂(アクリル、ウレタン)、顔料(クリヤを除く)、水

特長

- 着色と美しいツヤだしが同時にでき、木目を生かしたきれいなツヤに仕上がります。
- 塗膜は肉持ち感が良く、耐久性に優れています。
- 臭いが少なく、塗りやすい水性タイプです。

用途

手作り家具、建具、木工品、工作品などの屋内木部(高級家具を除く)、無垢床(フローリングを除く)
絶えず水がかかったり、いつも湿っているところは適しません。

塗装方法

- ① 古い塗膜は研磨などで充分に取り除き、汚れをよく拭き取ります(油分などはペイントうすめ液で拭き取ります)。
- ② 塗装する面以外の部分をマスキングテープなどでおおい、ニスが付かないようにします。ニスが付いた場合は、水ですぐに拭き取ります。
- ③ 塗装する面の表面が粗い場合には、サンドペーパー(#280~#320)を木目に沿ってかけると、よりきれいに仕上がります。また、塗装する面によっては、サンディングシーラー、とのこ、木部プライマーなどで塗装前に下地処理をおこなうと、よりきれいに仕上がります。(それぞれの製品表示に従って下地処理をおこなってください)
- ④ 容器のフタに手をそえて、容器とフタの間にマイナスドライバーなどを差し込んで開け、棒などでニスを底からよくかき混ぜます(顔料などが沈んでいる場合がありますので、底からよくかき混ぜます)。
- ⑤ ニス用のハケにニスを含ませ、木目に沿ってニスを塗っていきます。塗りにくい場合や、泡が残る場合などは、ニスを水で少しうすめます。(5%以下が目安です)
- ⑥ 塗り重ね時間を目安に塗装した面がある程度乾燥したら、2回目のニス塗りを1回目と同様におこないます。2回目の前に、塗装した面をサンドペーパー(#400~#600)で、木目に沿ってかけるとよりきれいに仕上がります。
- ⑦ マスキングテープなどは、ニスが手に付かなくなったらはがします。

用具の手入れ方法

使用した用具はニスが乾かないうちに、水で洗って下さい。

保管上の注意

- ① 幼児の手の届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしないように注意して下さい。
- ② 直射日光や火気のある場所、-5℃以下になるところ、自動車内などの高温になるところには置かないで下さい。
- ③ 残ったニスはしっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切ってください。

取扱い上の注意

- ① 表示の用途以外に使用しないで下さい。
- ② 食器など、口や食品に直接触れるものには塗らないで下さい。
- ③ ピアノ、美術工芸品、高級家具(桐の家具など)には塗らないで下さい。
- ④ 油加工(ロウ仕上げやワックス)、UV塗装、セラミック塗装、化粧合板などの密着の悪い素材、湿っている素材、ひどく汚れている素材などには塗らないで下さい。
- ⑤ 体調の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。
- ⑥ 目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないよう注意して取扱ってください。
- ⑦ ニスがつかっても支障がない服装で作業して下さい。
- ⑧ 塗装中、乾燥中とも換気を良くし、その後も塗料の臭いなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。
- ⑨ あらかじめ目立たない部分、または同種の木材で試し塗りをして、色・乾燥性・下地への影響・密着性などを確かめてから塗ってください。
- ⑩ 塗るときおよび塗ったニスが乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗ってください。
- ⑪ 乾燥が遅くなったり、泡が残ったりしますので、一度に厚く塗らないで下さい。
- ⑫ 塗装はニス用の化繊ハケが適しています。獣毛が混ざったハケを使用するとハケが固まる場合があります。また、ローラー、コデバケでの塗装は泡立ちますので、避けて下さい。
- ⑬ 古い塗膜が残っていると色むらになる場合がありますので、古い塗膜は充分に取り除いて下さい。
- ⑭ 塗装した上にテープ・ルクロスなどの塩化ビニル製品を使用したり、置いたりしないで下さい。その際は、本品ではなく、アサヒペン水性高耐久2液ウレタンニスを塗装して下さい。
- ⑮ 耐熱性、耐溶剤性、硬度などの塗膜性能については、アサヒペン水性高耐久2液ウレタンニスの方が優れていますので、使用する部分に応じて使い分けて下さい。
- ⑯ 熱したヤカンなどを直接塗装した上に置かないで下さい。
- ⑰ ヤニのある箇所は、ラッカーうすめ液でヤニを充分に拭き取ってください。また、ヤニやアクの多い下地に塗装した場合、乾燥が著しく遅くなることや乾かないことがあります。
- ⑱ 塗り面積・乾燥時間は、塗布量・下地・塗り方・気象条件などによって異なります。
- ⑲ 容器は塗料を使い切ってから捨て下さい。やむを得ず塗料を捨てるときは、アサヒペン水性・油性兼用塗料固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから捨て下さい。

救急処置

- 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。

株式会社 ASAHI PEN 大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp

お客様相談室 ☎06-6934-0300 日本製 00-1709

● この容器は、水を加えてかき混ぜられるよう、多少大きめに作ってあります。
中身のニスは正確な量ではありません。

(一社)日本塗料工業会登録
登録番号 A02145
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆
問合せ先 http://www.toryo.or.jp
建築基準法で定められたホルムアルデヒドの放散量が最も少ない区分で、居室内に無制限に塗装できます。

塗りにくいときは
水
(5%以内)
でうすめて下さい

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。